

～武奈ヶ岳 「水は湧く、温泉も湧く、でも酒は湧かない。歩荷するなら酒」～

【報告者】F谷

【日時】2018年12月29日(土)～30日(日)

【天候】雪

【参加者】F谷、他5名

《コースタイム》

12月29日 6:30 天王寺 ⇒ 9:12 イン谷口 ⇒ 11:27 金糞峠 ⇒ 13:40 コヤマノ岳 ⇒
14:30 武奈ヶ岳 ⇒ 16:00 幕営地
12月30日 10:00 幕営地 ⇒ 11:30 イン谷口

《報告》

今年の年末山行は、諸事情により遠出ができず、関西在住時に所属していたメンバーと共に比良山系の武奈ヶ岳に行ってきました。

12月29日

29日の早朝に実家を出発し、天王寺に向かって移動しました。早朝に実家から駅に移動するのはいつ頃ぶりぐらいだろうかなど考えながら駅に向かう。朝早い為、電車は空いていた。今回は、関西の山仲間が車を出してくれたため、電車で移動せずにスムーズにイン谷口に到着。

イン谷口からは、スタッドレスにチェーンを巻いて登る。思いの外、雪が深いので、降雪があると埋まって出られなくなる恐れがあるため、すぐ上がって路肩に駐車。

車を路肩に停車した後、共同装備を割り振って金糞峠に向けて出発。来賓待遇を受け、分担は酒2.80にまけて頂く(ビールは、個装)。登山口では踝程度の雪であり、解けたところでは路面がでていた。道中、余りにも酷い名前だったので金糞峠の名前の由来を聞いてみるも誰も知らなかった。帰ってから net で調べてみると、「金糞峠」はこの峠に「かなぐそ(金属を精錬するときに出る残滓)」様の石が堆積していたことからついたと言われるとの事でした。また、金糞峠の景色は「近江八景」に数えられており広重が「比良幕雪」として一枚絵を残しているそうです。

キャンプ場近くの堰堤を通り過ぎ、急な斜面を2時間ばかり登ると金糞峠。川も流れているので、今回は金糞峠から少し下った所に幕場



イン谷口



を作成することに。

膝程度の積雪の中、床をフラットにすべく均し作業をして、エスペースジャンボを設営。

体調を崩しているメンバーをテントキーパーとして残して軽荷で武奈ヶ岳山頂に向かう。先行パーティーが入っているため、トレースは確りと残っており、有難くトレースを用いて山頂を目指す。

トレースを使って順調に進んでいき、コヤマノ岳を通過。その辺りで先行のトレースが消失。降雪によるものか諦めたのか定かではないが、赤テープを探しながらラッセルをスタート。膝上ぐらいのラッセルをしながら山頂に向かう。山頂直下では雪深くなり、胸辺りまでのラッセルを交代しながら進む。稜線に上がれば、風で雪が飛ばされており、歩きやすかった。雪が無いということは当然風が強くて気温が低い。14:30 に山頂に到着。山頂にてみんなで写真を撮った後、寒いから即下山。16時に幕営地に戻る。帰りも降雪によりラッセル跡が部分的に消失しており、ラッセルをしながらの下山となった。

幕営地でテントに積もった雪かきをした後、宴会スタート。参鶏湯を頂きながら痛飲。担いだ酒は全部なくなりました。

12月30日

昨夜からの降雪によりテントがかなり埋まっており、明るくなっていることに気づかず全員で朝寝坊。山ではあり得ない8時起床。朝食を取った後、10時出発。結構な人数の登山者が上がってきていた。前日と違い、降雪がかなりあった事から、わかんを使ってラッセルで上がってくる。

「1日違いでえらく変わるものだねえ。昨日、登っておいて良かった！」等話しながら歩く。11時40分にイン谷口到着。車をスコップで雪かきして近所の温泉に直行。その後は難波で山仲間を呼んで昼から宴会、カラオケに行って実家に帰りました。

